

企画名：東京発！“核関連施設立地地域と東京を繋ぐ”「核燃料サイクル」計画映画制作プロジェクト

団体名：稲垣美穂子

1. 報告要旨

日本は1961年以来、使用済み燃料を再処理し、再び“有効利用”する「核燃料サイクル」計画を推進してきた。その要ともいえる高速増殖炉「もんじゅ」が、2016年12月に突如廃炉になったにも関わらず、国は未だ当該計画を押し進めている。さらに、2018年12月には最終処分場に寿都町が応募。原子力政策は進み始めている。

本企画は、再処理工場が本格稼働していない今だからこそ、立ち止まり、世論喚起すべく開始したドキュメンタリー制作プロジェクトである。今年度は、本助成を通じて、「核燃料サイクル」計画を支える青森県、福井県、佐賀県を中心に、とりわけ原子力発電所が誘致された当時を知る方々、長年闘ってこられた地域住民の方々に対して、可能な限り取材を行った。「核燃料サイクル」計画を包括的に捉えたものを目指してきた中で、2年目となる今年度では、どのようにこの問題を捉えるべきかという明確な視座を持ち、映画制作の骨子を設計するまでに至ることができた。

2. 成果物

1. 「パトロン限定配信 Report#2 仲間たちとめぐる浜通り調査（2021年7月8日～10日）ちょっと美味しい情報付」（2021.8.30）
2. 「【「核燃料サイクル」計画映画制作プロジェクト パトロン限定配信 Vol.11】取材記#2～福井⇒青森～」（2021.9.11）
3. 「玄海原発運転差し止め訴訟 控訴審で避難計画問題に焦点」『週刊金曜日』No.1355（2021.11.26）